

いXIL ロンカラー

ガラスドア
フラッシュドア
浴室用

(内付型・半外付型)

組立て説明書

MAM-142E AXU6 2024年11月11発行



MAM142E

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。 ※ 内は、ロット No. 表示位置を示します。

■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 安全キャップは、ドア本体組立て順序を参照して必ず取付けてください。安全キャップを取付けていないと、コーナー部材の断面によりケガをするおそれがあります。
- 漏水・腐食の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・各接合部のコーキングシーラーを、ズレなくはさみ込むようにねじ止めしてください。
 - ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

■組立て上のお願い

- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- 取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方にお渡しください。
- フラッシュドアの場合は、安全キャップ、ドアクローザ木片は取付け済みです。
- ガラスドアでドアクローザを使用する場合は、同梱されている木片を使用しますので捨てないでください。

■部品一覧表(組立て用)

■半外付型・内付型共通

①	㊦	㊨	㊩	㊰	㊱	㊲
皿小ねじM4×10 (丁番取付け用)	皿タッピンねじ一種 φ4×12	スピードナット	(内付型のみ) ナベタッピンねじ φ4×20	ナベタッピンねじ φ4×35	プッシュボタン φ8用	座金
安全キャップ(L/R)	(半外付型、フラッシュドアのみ) ナベタッピンねじ φ4×25	(ランマ付のみ) 特平ドリルねじ M4×13.5	(ランマ付のみ) ガラスライナー	(半外付型のみ) 下枠アンカー	(半外付型のみ) 縦枠上部キャップ (L/R)	

■現場手配品

■グレチャン【ロンカラーガラスドア／浴室用】

ロンカラー ガラス厚	使用区分	AS シリーズ用 ガラス溝幅9mm			デュオSG用 ガラス溝幅11mm	使用区分	商品コード
		B・T・G	W	S・K			
2mm用	—	—	—	—	(3mm用)	▽-12-BZMT	
3mm用	(2mm用)	A3Y92	A8Y92	A1Y92	(4mm用)	▽-13-BZMT	
4mm用	(3mm用)	A3Y93	A8Y93	A1Y93	(5mm用)	▽-14-BZMT	
5mm用	(4mm用)	A3Y47	A8Y47	A1Y47	(6mm用)	▽-15-BZMT	
6mm用	(5mm用)	A3Y48	A8Y48	A1Y48	(6.8mm用)	▽-16-BZMT	
6.8mm用	(6mm用)	A3Y49	A8Y49	A1Y49	—	—	

▽部…ブラック、オートムブラウン、ブロンズの場合はG、シャイングレー、シルバーの場合はK、ホワイトの場合はWになります。

■後付けビード【ロンカラーガラスドア・フラッシュドア ランマ付き】

ガラス厚	商品コード／色		
	B・T・G	W	S・K
3mm用	A3F03	A8F03	A1F03
4mm用	A3F04	A8F04	A1F04
5mm用	A3F05	A8F05	A1F05
6mm用	A3F06	A8F06	A1F06
6.8mm用	A3F07	A8F07	A1F07

- 防火仕様は防火部品セットに同梱されている後付けビードを使用してください。
- 非防火仕様は後付けビードは別売りとなりますので、上表の後付けビードを使用してください。
- ※ブラック・オートムブラウン・ブロンズ製品には、(B)を使用してください。ホワイトの製品には、(W)を使用してください。シャイングレー・シルバー製品には、(S)を使用してください。

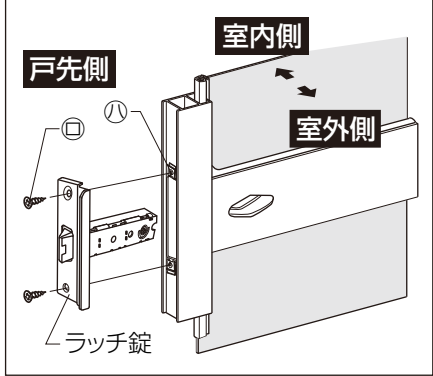
■ドア本体組立て順序

■ガラスドアの組立て

※フラッシュドアの場合は、下記組立て作業はありません。

- 組立ての際、縦枠の上下棧ねじ止め個所に①座金を使用してください。
- 組立て後、ねじ穴に㊱プッシュボタンをはめてください。

■ラッチ錠の取付け



【安全キャップの取外し方】

- ガラスの交換などで安全キャップを取外す場合、ラジオペンチなどで端部からツメの部分のをせばめて矢印方向に抜きます。

【丁番の取付け方】

- ドアの組立てが完了したら、④皿小ねじM4×10で丁番を取付けしてください。

【ドアクローザ木片の取付け方】

- ドアクローザを使用する場合は本体組立て前に、同梱されている木片を上棧の中に入れてください。

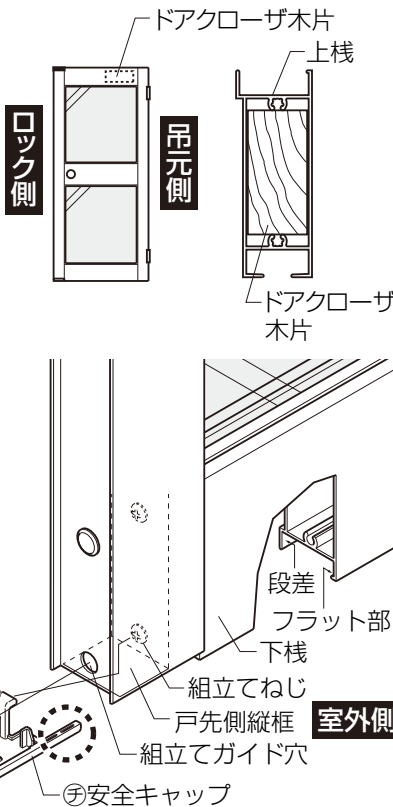
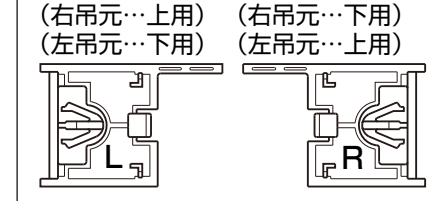
お願い
※本体組立て後に木片が動いている場合があります。必ずドアクローザ取付け前には木片を吊元側へ寄せてください。(ドアクローザ取付け説明書はドアクローザ内に同梱されています)

【安全キャップの取付け方】

- ドア本体組立て後、㊱安全キャップを戸先側縦枠の上・下に取付けます。
※安全キャップには、上用・下用があり、吊元によって使い方が異なります。下図を参照し確認してください。
- ①安全キャップのA部を戸先側縦枠の組立てガイド穴に、B部を組立てねじの頭に合わせ「パチン」と音がするまで押込みます。
- ②手で引いて、外れないことを確認します。

お願い
※の部分、上棧・下棧の戸当りの段差のないフラット部に向けてください。

■安全キャップの確認



▲注意

- 安全キャップを上記の手順で必ず取付けてください。コーナー部材の断面によりケガをするおそれがあります。(ただしフラッシュドアを除く。)

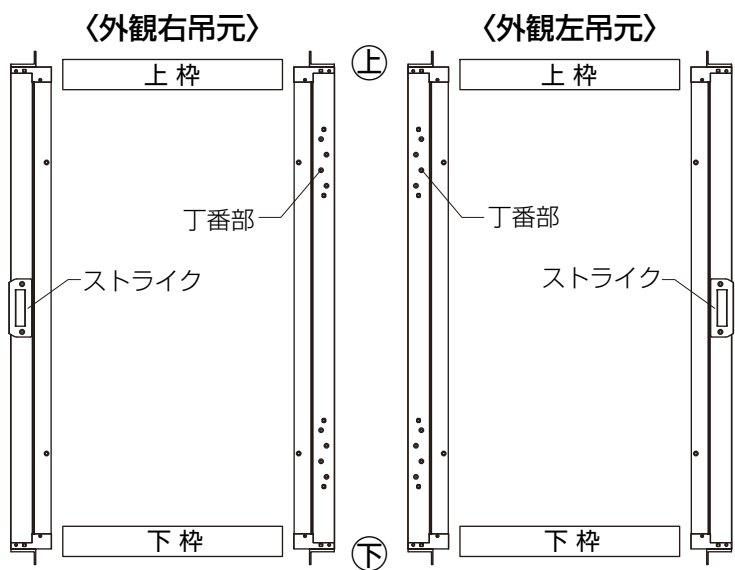
■組立て前の確認

■半外付型(アングル無・付)の場合の縦枠について

※内付型の場合は、下記確認取付け作業はありません。

●ランマなしの場合

- ・半外付型のランマなしの場合は、左右吊元兼用商品のため縦枠（戸先側、吊元側）の組立て方によって左右吊元が決まります。必ず、下図を参照しドア本体のL用、R用に合わせて縦枠（戸先側、吊元側）の④⑤を確認してから組立てを行ってください。



▲注意

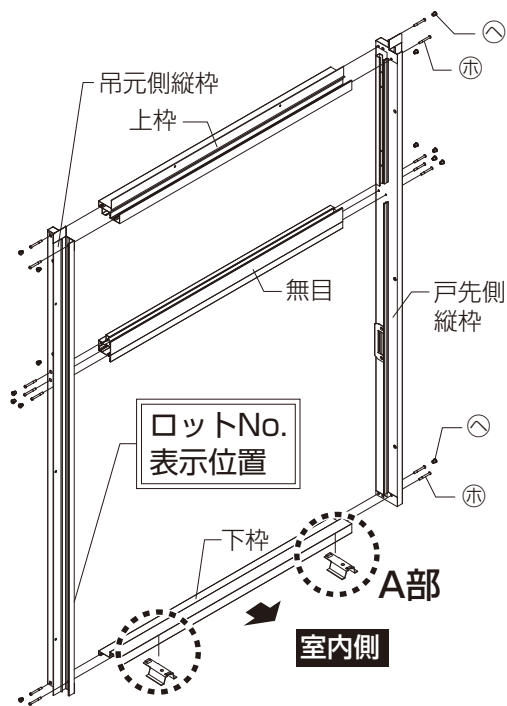
- 漏水・腐食の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・各接合部のコーキングシーラーを、ズレなくはさみ込むようにねじ止めしてください。
- ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

■枠組立て順序

※図は半外付型で説明しておりますが内付型も同じ手順です。

■枠の組立て

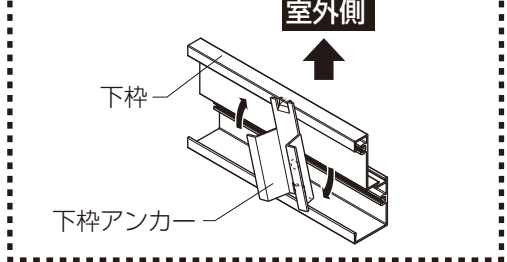
- ※内付型の枠に押しボタンの取付はありません。
- ※内付型の場合の枠組立ては⑩→⑪ナベタッピンφ4×20になります。
- ※半外付型のフラッシュドアの場合の枠の組立ては⑩→⑫ナベタッピンφ4×25になります。



■下枠アンカーの取付け

- ※半外付型の場合のみ⑬下枠アンカーを使うことができます。

■A部詳細図



■後付けビード

- 防火仕様は防火部品セットに同梱されている後付けビードを使用してください。
- 非防火仕様は後付けビードは別売りとなりますので、下表の後付けビードを使用してください。

表面の ■現場手配品の ■後付ビードの表を引用する。

■ドア本体・丁番の取付け

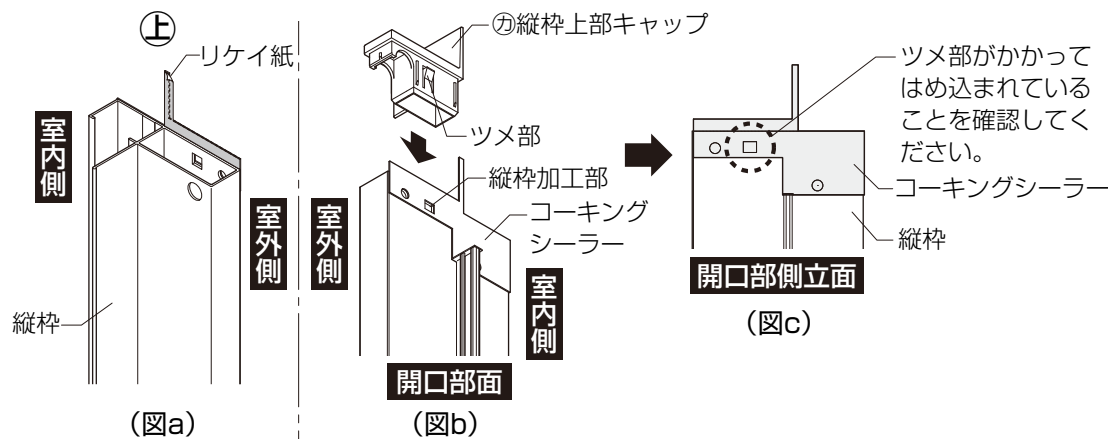
ドア本体組立ての際に取付けた丁番を枠に取付けて吊込んだ状態にしてください。

●縦枠上部キャップの取付けと下枠コーキングシーラーの切り取り

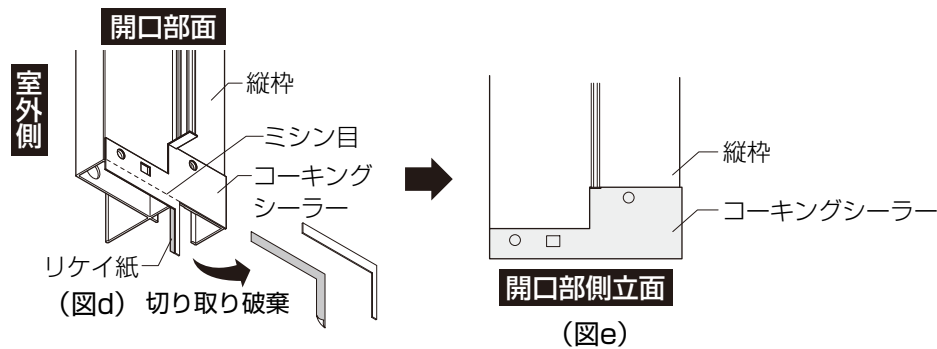
- ・半外付型の場合、縦枠上部キャップの取付けと下枠コーキングシーラーの切り取り作業があります。下図を参照し取付け及び切断を行ってください。

- ①上枠側のコーキングシーラーに付いているリケイ紙を剥がします。(図a)
- ②⑦縦枠上部キャップを各縦枠の上部に差し込んで、コーキングシーラーを縦枠上部キャップに張付けてください。

※このときに縦枠上部キャップのツメ部が縦枠の加工部にはめ込まれていることを確認してからコーキングシーラーをキャップに隙間なく張付けてください。(図b.c)

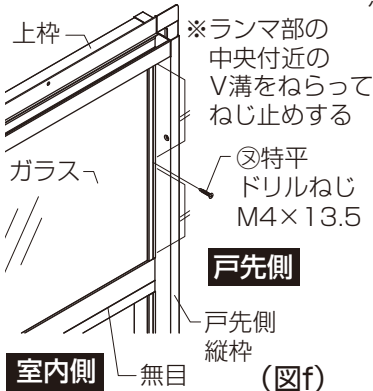
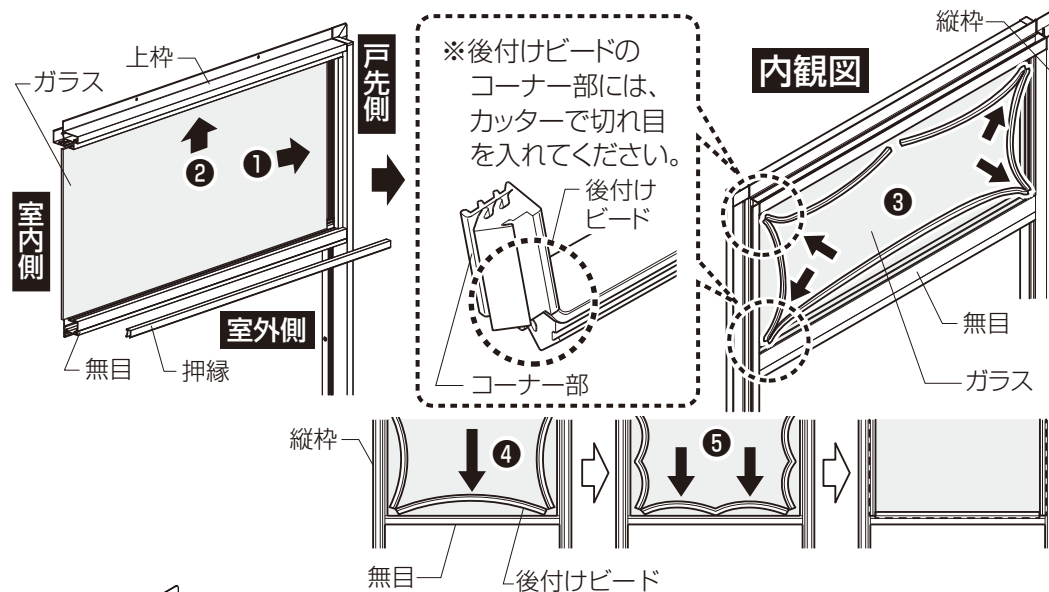


- ③下枠側のコーキングシーラーをミシン目に沿ってリケイ紙とともに切り取ってください。(図d,e)切り取ったリケイ紙とコーキングシーラーは破棄してください。

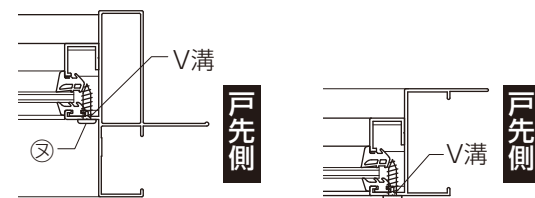


■ランマへのガラス入れ

- ①押縁の上部を倒して無目から外します。
- ②ガラスを丁番側から戸先側へこんで入れ、ガラスを持ち上げて③ガラスライナーをガラスの下に置き(このとき、丁番側へガラスを横方向に寄せます)、外した押縁を取付けます。
- ③-1 図の③のように余長を持たせて、四方に後付けビードをまわします。余長なく押込むとビードが収縮し、外れや雨漏りの原因となります。
[後付けビードの余長の目安1000mmあたり30mm]
- ③-2 図の④⑤のように数箇所、均一にたわむように仮止めしてから押込みます。
- ④ランマガラスの外れ防止のために、特平ドリルねじM4×13.5⑧を下図の(図f)のように室内側から戸先側縦枠ランマ部中央付近のV溝に合わせてねじ止めしてください。



【ビードの押込みがきつい場合】
後付けビードを100mm程度に切断して上・縦の3方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押込んでください。



【半外付型ランマ部断面】 【内付型ランマ部断面】